

海外医療研修コース特論・演習

Integrated International Student Exchange Program

薬：L1-24613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 赤沢 学(公衆衛生・疫学研究室)

■教育目的

アメリカ・イリノイ大学シカゴ校薬学部、カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部など他国の医療制度、薬学教育や薬剤師の役割(薬局業務、病院業務)などについて、海外研修で習得したことを振り返り、今後のキャリア選択を考える。【卒業認定・学位授与：YD-⑤、YD-⑥】

■学習到達目標

1. 海外の薬学生に日本の医療制度、薬剤師の役割、薬剤師教育を説明できる(知識、技能)。
2. 海外研修で学んだことを生かして、日本の薬剤師のあるべき姿を議論する(知識、技能)。
3. 将来のキャリア選択に、海外研修で身につけた知識や経験を生かす(態度)。

■準備学習(予習・復習)

予習：英語検定など継続的に英語学習を続ける(10時間以上)。

復習：語学力と海外研修の知識・経験を生かして、キャリア選択を考える。

■授業形態

グループワーク、プレゼンテーション、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1～5	海外医療研修コース特論	国際保健分野で活躍する医療関係者の体験談、提携大学の教員による講義・ワークショップ等	A(5)-①-1～5、A(5)-②-1～2、A(5)-③-1～2、A(5)-④-1～2
6～7	海外医療研修コース演習	語学検定(TOEIC等)	A(5)-①-1～5、A(5)-②-1～2、A(5)-③-1～2、A(5)-④-1～2
8～11	コース合同特論	他コース(地域医療・伝統医療薬学等)の特別講義	
12～15	特別講義	その他、日本社会事業大学並びに大学が企画する特別講義	

■授業分担者

赤沢 学(責任者)、樋口 和宏、酒井 良子、廣田 慶司、榎山 暁史、前田 英紀、外部講師(必要に応じて)

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

語学検定の成績(30%)並びにワークショップや特別講義などの参加レポート(70%)で総合評価を行う。なお、外国人留学生在が日本国内で行う医療研修に参加して日本の医療を説明する活動(ボランティア等)に従事した学生に関しては、それを通じて得られた学びを、省察(レフレクション)レポートとしてまとめて提出した場合は、成績評価に加味する。また、研修成果を学会等で発表する機会があれば、成績評価で考慮する。

■教科書

必要に応じてプリントを配布する。

■参考書

特に指定なし。